

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

15134

市道維持修繕事業（道路管理）

[長期総合計画]

分野別目標	98	体系外
政策	98	体系外
施策	98	体系外
取組方針	98	体系外

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他	○		
会計・ 予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業 中事業			

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	～	担当課・担当課長・Tel	道路管理課	山本 隆生	435-1088
事業実施の根拠法令		関連課			

## 1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
	道路施設の修繕事業		所々修繕、樹木等処分委託、応急工事委託、舗装維持修繕委託、側溝等浚渫委託、花壇管理委託、植栽管理委託、道路維持修繕工事、舗装維持修繕工事等を行う。			
事業内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
		所々修繕、樹木等処分委託、応急工事委託、路面清掃委託、土砂運搬委託、舗装維持修繕委託、側溝等浚渫委託、花壇管理委託、植栽管理委託、道路維持修繕工事、舗装維持修繕工事等を行った。	所々修繕、樹木等処分委託、応急工事委託、路面清掃委託、土砂運搬委託、舗装維持修繕委託、側溝等浚渫委託、花壇管理委託、植栽管理委託、道路維持修繕工事、舗装維持修繕工事等を行った。	所々修繕、樹木等処分委託、応急工事委託、路面清掃委託、土砂運搬委託、舗装維持修繕委託、側溝等浚渫委託、花壇管理委託、植栽管理委託、道路維持修繕工事、舗装維持修繕工事等を行った。	所々修繕、樹木等処分委託、応急工事委託、路面清掃委託、土砂運搬委託、土砂処分委託、舗装維持修繕委託、側溝等浚渫委託、花壇管理委託、植栽管理委託、道路維持修繕工事、舗装維持修繕工事等を行う。	所々修繕、樹木等処分委託、応急工事委託、路面清掃委託、土砂運搬委託、土砂処分委託、舗装維持修繕委託、側溝等浚渫委託、花壇管理委託、植栽管理委託、道路維持修繕工事、舗装維持修繕工事等を行う。

## 2 事業コスト

事業費等（千円）	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	591,674	530,100	774,494	668,769	710,774	665,187	592,874	0	592,874	0
伸び率（%）	0%	0%	30.9%	26.2%	△8.2%	△0.5%	△16.6%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	47,927	48,006	48,176	50,170	46,274	46,594	45,875	0	45,875
	正規職員以外	2,090	946	1,953	977	1,140	1,191	1,191	0	1,191
	小計	50,017	48,952	50,129	51,147	47,414	47,785	47,066	0	47,066
国庫支出金	135,663	91,955	226,050	161,912	226,050	118,558	104,225	0	104,225	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	73,600	37,900	138,200	64,900	138,200	146,100	83,500	0	83,500	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）	382,411	400,245	410,244	441,957	346,524	400,529	405,149	0	405,149	0
所要人数 （人）	正規職員	6.03	6.04	6.04	6.29	5.79	5.83	5.74	0.00	5.74
	正規職員以外	0.95	0.43	0.86	0.43	0.48	0.48	0.48	0.00	0.48
主な予算内訳	所々修繕88,433千円、道路維持修繕工事94,000千円、舗装維持修繕工事29,000千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
苦情件数		件	目標値					
			実績値	400	400	400		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
要望件数		件	目標値					
			実績値	900	900	900		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
修繕件数		件	目標値					
			実績値	227	240	240		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
			目標値					
成果指標			実績値					
			達成度(%)					
			目標値					

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	今後も市道が増加し、道路施設の老朽化が進むため、経済活動や市民生活への影響を最小限に抑えるよう、適正な管理が必要である。
見直し・改善内容	改善案として、職員数の増員確保による体制の整備及び強化、並びに維持管理費等予算の増額による確保が必要となる。具体的に、何人増員と判断できないが、現在の人員では困難と考えられる。よって、業務量及び人員配置の見直しが必要。